

# 第90回メーデー集会

2019年4月27日(土)10:00～  
二戸地区 ワークインにのへ  
参加者 49名  
久慈地区 九戸教育会館  
参加者 53名  
久慈市長 遠藤譲一様、一戸  
町長 田中辰也様からはメッ  
セージをいただきました。

第90回メーデー集会では、4月から施行された働き方関連法で労働環境改善への取り組みが確実に進められることを求め、36協定の順守、有給休暇の取得、労働時間の確実な管理など確認し、働くことを軸とする安心社会の実現を目指し開催しました。

今回は様々な状況が重なり、参加者が少なくなることから室内での集会とし、集会後に二戸地区ではセミナー、久慈地区では労働組合が抱える課題報告会を実施しました。

## 二戸地区集会

実行委員長  
中田 茂

二戸市副市長  
大沢 治様

岩手県議会副議長  
五日市 王様

二戸市議会議員  
及川 正信様

二戸市議会議員  
鈴木 忠幸様



## 二戸地区セミナー



二戸地区労働者福祉協議会に依頼し、二つのセミナーを開催しました。最初に岩手医科大学の神先真様(写真下右)から【ゲートキーパー養成研修】を行っていただきました。「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに「気づき」、「声かけ」、「傾聴」し、必要な支援機構に「つながり」ことであり、命の門番です。終了後のアンケートでは「初めて聞いた」、「もっと詳しく聞きたかった」、「時間が足りなかった」、「次の機会があればまた聞きたい」など、ゲートキーパーの必要性を理解し、興味を深める参加者が多く、有意義なセミナーとなりました。

二つ目は宮古市社会福祉協議会の有原領一様(写真下左)から【子ども食堂の取り組み】を行っていただきました。社会福祉協議会が実施する子ども食堂は、他の地域にはなく独自の取り組みであり、「地域の実情」、「ボランティアの方と子どもと一緒に食事を作ること」、「利用者の増加に向けた取り組み」などを講義していただき、子ども食堂と二戸地区の実情を考えてみる機会となりました。



## 浄法寺PR” うまいもん” 「じゃパン」を参加者へ！！

漆の生産量日本一、漆掻き職人や漆器職人をもっと増やしたい、もっとみんなに知ってほしい、という思いで平成29年に浄法寺小6年生が考案したパンが製品化されています。生地は漆の木の表面のようにし、中身は樹液をイメージしたミルククリームになっています。地元の人からPRに協力をさせていただきたくて、参加者全員に食べていただきました。浄法寺支所前の「ほほえみ工房」で販売していますが、品切れの場合があります。50個からはオーダーに対応しているそうなので、何かのイベント時にPR活動をしませんか!(^^)!

それがとても嬉しい



漆に関心を持って欲しい

## 久慈地区集会

実行委員長  
村田 順



久慈地区の集会は連合岩手 県北地域協議会・平和環境久慈地区センター・久慈地区友愛会との労働3団体で開催しています。

4月27日は久慈市「春まつり」と日程が重なったため、集会後のデモ行進を行わず九戸教育会館内で「労働組合の課題報告会」を行いました。

各労働組合からは様々な課題が報告されました。組合員の拡大、体調が悪い時に休みやすい環境作り、職場統合による働く場の確保、手当カット、長時間労働の削減、仕事量の増加と人材不足、タイムカード運用方法など職場による課題が報告されましたが、全体に共通する問題は人材不足にあります。そのため多方面で拠点の広域化につながり、仕事や活動の変化により大変さが増してきているのではないかという結論が見えてきました。

最後に来賓の久慈市議会議員の豊巻直子様と岩城元様から、この報告に対しコメントをいただき、これからも連携を深め、働くことを軸とする安心社会の実現を目指していくことを確認しました。

久慈市議会議員  
豊巻 直子様



久慈市議会議員  
岩城 元様



東北労働金庫久慈支店  
支店長 山野目 知史様



社民党久慈総支部  
代表 久慈 信様



喜んでいただけるのは「べっぴんの湯！」ということで、ささやかではありますが入湯券を抽選で差し上げました。

村田実行委員長による「ガンバロー！」で、真の働き方改革に向けて団結を強めました。

